

研究発表会の授業より

今回は、11月1日に行われた6年生の提案授業の紹介です。本時までの流れと研究協議の一部を紹介します。

単元名「ほくたち、わたしたちの考える町づくり(小京都中村編)」

教材名「町の幸福論-コミュニティデザインを考える」全13時間 6年 大野 香奈 教諭

単元の目標:

話・聞 収集した知識や情報を分類したり、関係づけたりして伝えたい内容に応じて整理することができる。

意図を明確に伝えるために、資料を効果的に活用し、表現を工夫して話すことができる。

読 自分たちの町についてプレゼンテーションするために、文章の内容を的確に押さえて要旨を捉え、自分の考えを明確にしながらかくことができる。

言 語感、言葉の使い方に対する感覚等について関心を持ち、自分の表現に生かすことができる。

学習の流れ

6年生 「町の幸福論 -コミュニティデザインを考える」(全13時間) ほくたち、わたしたちの考える町づくり(小京都中村編)

- 1 これからの学習の流れを知ろう。
2 教科書を読み、構成・説明の観点・資料の効果などについて考えよう。
3 筆者がどんな観点からどのようなことを論じているのかを読み取る。
4 バックキャストを知り、未来像をイメージする。
5 筆者はどんな資料や例を挙げて論を述べているか考える。

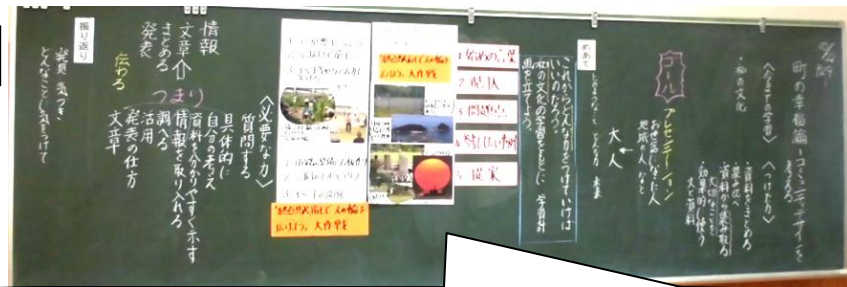
- 6 情報を整理し、構成を考え、プレゼンテーションを仕上げ発表・推敲しよう。
7 構成に必要な資料を考える。
8 プレゼンテーションを仕上げ、練習する。
9 クラスの友だちにプレゼンをし、推敲(1)する。
10 プレゼンを見直し、推敲(2)する。
11 プレゼンを見直し、練習する。
12 プレゼンを推敲(3)し、練習する。

自分たちが考える町づくりのプレゼンテーションをしよう。
13 地域の方にプレゼンテーションを行い、単元を振り返る。

付けたい力 資料を効果的に活用したり、表現を工夫したりして自分の考えを明確に伝える力

第1次

1時間目



1時間目の板書です。5年で学習した「和の文化」を振り返り、既習の力を確かめた後、先生のプレゼンテーションを聞き、必要な力について考え、学習計



必要な力は何か、各自で付箋に書き、グループで話し合いボードにまとめています。カテゴリごとに分類する姿も見られました

第2次

2~5時間目



第2次では、教材文で構成を確かめ、筆者の観点を読み取ったりバックキャストの考え方を押さえたりしました。また、筆者がどのように資料を活用しているのか、プレゼンテーションで使いたい言葉

第3次

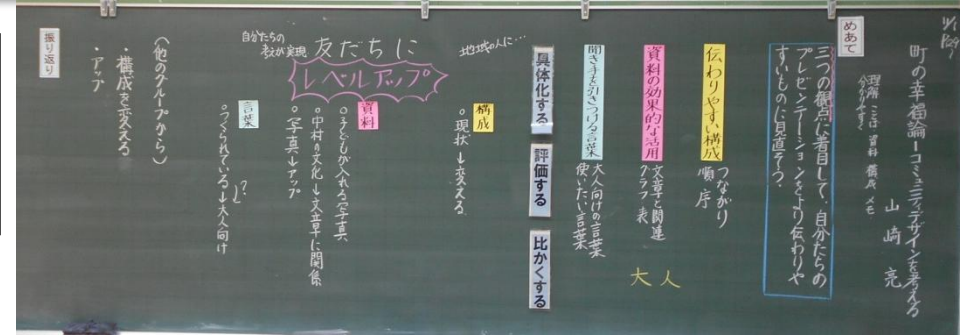
6~12時間目



第3次は、情報を整理して構成メモをつくり、プレゼンテーションの発表原稿を作成し、プレゼンテーションを上げていきます。第2次で学んだ①伝わりやすい構成②資料の効果的な活用③聞き手を引きつける言葉等の工夫の3観点到着目してプレゼンテーションを吟味していく学習過程になっています。



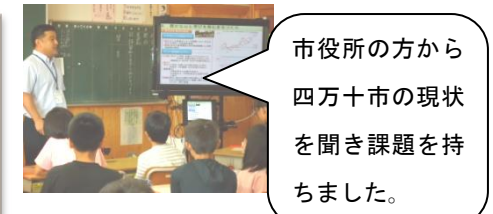
本時 9/11 時間目の板書



本時は、2グループずつでプレゼンテーションを見合い、3つの観点に着目して改善点を見つけて、レベルアップを目指す授業でした。どうすればより伝わりやすくなるのかグループで推敲する姿が見られました

研究協議の記録より

- ◆育成すべき「資質・能力」を付けるために最適な言語活動であるか。
▼研究主題にもある資質・能力とはこの授業では何か?今日の授業でどこに着眼点を置けばよいのか?資料の活用については、5年の「和の文化」で既習内容である。この学年の授業では、構成と引きつける言葉のみ着目しては。多くの班のプレゼンを見取るのは難しい。
△教材文の展開の仕方は?→プレゼンテーションをするにあたって、教材文「町の幸福論」では、筆者の意図やねらいを見つけることや、資料に関してはなぜこの写真なのか、なぜ資料やグラフが必要なのかを押さえている。P33を参照しながら、構成、資料、言葉の3つの観点に着目してよりよいプレゼンにするよう繋げてきた。
◆本時の目標が達成できたか。
○何について話し合うのか視点が明確であったため、児童も意識して「聞く」「考える」ことができていたようにみえた。
○他のグループの指摘をもとに3つの観点について今までの作成物・文章(ノート)と結びつけて考えることができていた。
○「大人向けの言葉」を使うことによって、語彙を豊かにできている。
▼伝えたい内容、伝えるべきことに関する議論が弱かったのでは?話す・聞くレベルは非常に高いが本当に伝えたいことや伝えたい内容になっていたのでないか。
◆「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」は実現していたか。
○アドバイスしてもらったことをそのまま鵜呑みにするのではなく、自分たちの資料を見て取り入れるかどうかを判断したり取り入れる形を工夫したりして自分たちのプレゼンテーションをよりよいものにしていく。
○他の意見からよりよいものにしようという意見を交流することで、新たな考えにつながっているところが深い学びにつながった。



市役所の方から四万十市の現状を聞き課題を持ちました。

総合的な学習の時間では、小京都中村の良さや課題について学習しています。今回の国語科の学習での地域の未来を考える学習と関連しているためより関心や目的意識を持って学習に取り組めると考え、このことをプレゼンテーションするという言語活動を...

本時の授業の様子



班ごとのボードに資料や使いたい言葉、もらった付箋を貼っています